

西尾市地域公共交通計画および 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 における中部運輸局の二次評価について

1 西尾市地域公共交通計画の二次評価について

令和4年2月17日（木）に、西尾市公共交通計画の評価結果について中部運輸局による第三者評価委員会の審議を受け、次のとおり二次評価の結果が送付されました。

(別紙)中部運輸局評価結果 令和4年3月10日付け事務連絡

計画名	西尾市地域公共交通計画
評価対象	地域公共交通計画の評価結果

二次評価結果

評価できる取組

- ・令和2年4月の再編後、利用者の変化や住民の移動ニーズの追跡調査や検証を継続して行っていることを評価します。
- ・GTFSの整備、バスロケーションシステムの導入等、利用者の環境改善に努められたことを評価します。
- ・吉良、幡豆地区のいこまいカーについて商業施設・医療施設を行き先として拡大し、利用者の利便性を向上させたことを評価します。

期待する取組

- ・地区公共交通協議会と連携しながら、安心・安全な公共交通利用のPRを継続して実施されるよう期待します。
- ・ふれんどバスについては、新型コロナウイルスの影響と思われる収支率の低下が見られますので、碧南市と連携した利用促進が展開されるよう期待します。
- ・鉄道・バス・旅客船等の公共交通機関の連携を図り、観光振興の視点も取り入れた地域公共交通計画の作成を期待します。
- ・いこまいカーの商業施設・医療施設などへの行先の拡大について一色地区においても検討することを期待します。

2 令和2年度地域公共交通公共交通確保維持改善事業費補助金の二次評価について

令和2年度地域公共交通公共交通確保維持改善事業費補助金を活用し、令和3年4月に六万石くるりんバスおよびいっちゃんバス車内へ「リアルタイム混雑情報提供システム」を導入しました。導入後の事業評価等を踏まえ、次のとおり二次評価を受けました。

このシステムは、バス車両に搭載のタブレット端末で乗降人数をカウントし、バス車内の混雑状況を5段階でリアルタイムに配信することで、バス利用者が混雑している便を避けるなどの判断ができ、新型コロナウイルス感染症対策としても期待できるものです。

地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価総括表

令和4年2月16日
中部運輸局

評価対象事業名: 混雑提供システム導入支援事業

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③事業実施の適切性	④目標・効果の達成状況	⑤事業の今後の改善点	評価結果	
西尾市地域公共交通活性化協議会	混雑情報提供システム導入事業(リアルタイム混雑情報提供システムの導入)	A 完了予定日の翌日に公開を開始できたため、適切に事業は実施された。	B 12月24日、27日の各日午後3時～5時に西尾駅バスのりば付近において、リアルタイム混雑情報提供システムについて以下の聞き取り調査を行った。 ①リアルタイム混雑情報システムを知っているか → 知っている 52人 知らない 18人 ②リアルタイム混雑情報システムによって情報を入力しているか → している 41人 していない 11人 ③実際に利用時間について密を避ける参考になったか → 参考になった 5人 参考にならなかった 36人	利用者からの聞き取りから、リアルタイム混雑情報システムを知っている人の多くは情報を入力しているものの、実際に利用時間について密を避ける参考にならなかったと回答する割合が非常に多かった。理由を尋ねたところ、「通学で使っているので利用する時間を自由にずらせないから」など利用目的が原因となっていることがほとんどだった。また、「ずらしたとしても、その時間が混雑しているかどうか分からない」といった声も聞かれた。今後の改善策として、現在はリアルタイムの混雑情報のみ掲載しているが、混雑予測情報についても提供できるよう開発会社と検討したい。	補助対象事業者における事業評価結果のとおり適切に実施されている。今後は、今回目標達成に至らなかった理由も含め、関係者で協議を重ねたうえで、混雑予測情報の提供など、更なるサービス向上を図られることを期待します。	